

# 青森県医師会 活動報告

## 「医師支援について」

---

令和7年10月18日（土）

日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携

「北海道・東北ブロック会議」

# 青森県医師会医師就労環境整備事業

## 男女共同参画委員会

- ・年2回開催
- ・委員:11名  
担当役員:4名

## ワークライフバランス推進室

- ・旧)女性医師支援室(29年度から名称変更)
- ・医師相談窓口担当者4名(R7から3名増員)、担当役員4名
- ・運営会議を月に1回開催
- ・男女共同参画委員会の下部組織として、医師相談の受付、研修病院訪問、ニュースレターの編集等を担う

# 主な支援事業

復職・再研修支援体制、キャリアアップ支援体制

## 医師相談窓口のご案内



現役医師がお話を  
伺います！！

### [電話]

受付時間：月～金/9:00～17:00  
専用フリーダイヤル:0800-800-1400

### [メール]

受付時間：24時間  
e-mailアドレス: ishi-ouen@aomori.med.or.jp

### [面談]

電話・メールにてご連絡ください。  
日程調整後、県医師会館にて担当医師が  
対応いたします。



⇒ スマホからホームページに  
アクセスできます！



URL: <https://ishi-ouen.com/>

※医師会会員でない先生でも相談できます。

※お預かりした個人情報については、本人に同意なく第三者に開示することはありません。

**託児施設設置費用を  
助成しています**

青森県医師会では育児中の医師が研修会・講習会に  
参加しやすい環境を整備するため、  
託児施設設置費用を助成しています。

**助成内容**

- 託児室設置費用  
(ホテル部屋代等)
- 育児サポーター費用  
(シッター日当等)
- 傷害保険料

対象となる研修会・講演会  
青森県医師会が共催、後援するもの  
都市医師会が主催、共催、後援するもの

お子様の体調不良などで、託児を当日キャンセルされる場合でも  
費用をご負担頂くことはありませんので、お気軽にお問合せ下さい。

青森県医師会  
017-723-1911

ホームページは  
こちらから

ホームページのフォームから申し込むこともできます。

# 研修会等での託児室設置補助

---

令和7年度

申請数:3件(助成数:1件)

対象:県内で開催される研修会及び講習会で、青森県医師会が共催、後援するもの

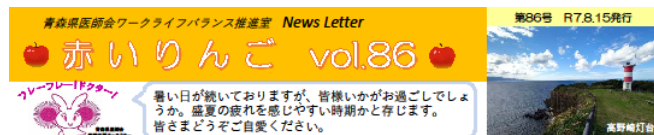
および、郡市医師会が主催、共催、後援するもの

補助内容:会場に設置した託児室の費用、保育を依頼するサポーターに係る費用

託児を受ける子どもに対する傷害保険料

# ワークライフバランス推進室 「赤いりんご」

## News Letter




● 今月号の内容	● 活動報告
・2025年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー ・医師相談窓口のご案内 ・日本医師会第3回男女共同参画委員会報告 ・第8回八戸地域臨床研修医歓迎会報告	・6/23 第8回八戸地域臨床研修医歓迎会 ・6/26 6月ワークライフバランス推進室運営会議 ・7/9 2025年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー ・7/22 7月ワークライフバランス推進室運営会議 ・7/24 第1回青森県医師会男女共同参画委員会 ・8/14 8月ワークライフバランス推進室運営会議

### 2025年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー 令和7年7月9日(水) 弘前大学医学部学生支援センター2号棟

青森県医師会と弘前大学医学部との共催のもと、男女共同参画セミナーを開催いたしました。  
本会富山副会長の挨拶に続き、工藤常任理事より医師会の活動紹介を行いました。今年度は第1部・第2部ともに、医学部1年生を対象とした「臨床医学入門」の授業として開催しました。  
第1部は特別講演とし、長崎大学病院高度救命救急センター講師の高橋健介先生にご講演いただき、第2部ではテーマを「医師の働き方とキャリア形成」として、「さんかくダイアログ」コラボ企画のグループ討論が行われました。第1部、2部合わせて104名の医学生と21名の医師にご出席いただき、盛会裏に終了いたしました。

### 特別講演 Think Globally, Act Locally～地域医療から国際保健を考える～



長崎大学病院高度救命救急センター  
救急・国際医療支援室  
講師 高橋 健介 先生

● 目標や興味は変わっていくが、その過程で勉強したことはいつか必ず役に立つ  
● 若いときには色々苦労するべき。苦労が報われる時がある  
● 医療を持っている人がいるのは、国内でも海外でも同じ  
● 英語をはじめとした言語スキルの維持を  
● 医療資源が乏しい環境でも診断診療ができるように身体所見をとる技術を磨こう  
● 歴史や文化の探求は、その地に住む人や異なる世代とのコミュニケーションツールになる  
● 多職種への理解と連携は患者さんにも益をもたらす

第1部の特別講演では、高橋先生より学生時代の経験、研修医時代に触れた地域医療や難症医療、そして国境なき医師団へ参加されてからの海外での経験など様々なお話をいただきました。講演最後には医学生へ向け多くのメッセージもいただきました。

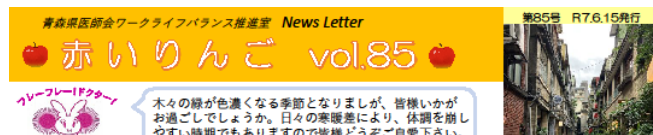
### ● 医師相談窓口のご案内 ● ～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）～

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復職などに関する相談を受けております。

○保育サービス情報提供  
・ベビーシッターを捜したい。  
・育児休業を休むという考えはある？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

○医師就業などの各種相談  
・育児が一歩進んだので復職したいが不安...  
・日本医師会の女性医師会へ心を開くには？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

※相談室での業務のご依頼も承っております。（復職医師が対応します。ご予約が必要です。）  
医師会加入の有無を問わず、医師であればどこでもご相談いただけます。  
登録料などでも、お気軽にご相談下さい！




● 今月号の内容	● 活動報告
・第4回弘前市医師会・弘前大学医師会地域医療懇談会・懇親会報告 ・在宅医療・訪問診療についての求人 ・青森地域研修医歓迎会報告 ・臨床研修病院等訪問報告 ・日本医師会第19回男女共同参画フォーラム報告	・4/24 4月ワークライフバランス推進室運営会議 ・5/8 臨床研修病院等訪問(八戸市立市民病院) ・5/9 日医第3回男女共同参画委員会 ・5/17 第19回男女共同参画フォーラム ・5/27 5月ワークライフバランス推進室運営会議

### 第4回弘前市医師会・弘前大学医師会研修医地域医療懇談会・懇親会報告

令和7年4月5日17:30～フォルトーナにて開催されました。この会は2018年度(平成30年)から開催されているもので、弘前地区の研修医を歓迎するとともに、広く地域医療に携わる青森県医師会・弘前市医師会の役員からの医師会活動の紹介と、先生方との情報交換をしながら今後の医療活動に役立てていただくことを目的として開催されています。

会の初めに弘前市医師会会長袴崎良樹先生、弘前大学医師会会長津館聡志先生、弘前大学大学院医学研究科長石橋恭之先生からご挨拶を頂きました。懇談会では袴崎先生から「弘前市医師会の活動について」また、弘前市医師会総務理事伊東重豪先生から「弘前市医師会の在宅医療への取り組み」、青森県医師会から「青森県医師会について」のお話があり、さらに出席の医師会員の皆さんから一言ずつコメントを頂きました。普段直接お会いすることのない先生方からの話が新鮮でした。研修医の皆さんにとっても医師会の活動を知って頂く機会になったと思います。




増田病院副院長/青森県医師会常任理事 工藤 史子  
市医師会の在宅医療への取り組み、青森県医師会から「青森県医師会について」のお話があり、さらに出席の医師会員の皆さんから一言ずつコメントを頂きました。普段直接お会いすることのない先生方からの話が新鮮でした。研修医の皆さんにとっても医師会の活動を知って頂く機会になったと思います。

### 【急募】在宅医療・訪問診療にご興味のある先生

一般社団法人AMR理事長/おひさま在宅クリニック八戸院長 井上 比奈

在宅医療・訪問診療にご興味のある先生を募集しております。  
経験の有無を問わず、転科希望の方も応募可能となっております。  
経験豊富なスタッフがITを活用してサポートしますので、是非ご検討下さい。  
在宅医療・訪問診療は新規開業も認められることから医療分野です。  
将来独立開業を目指す先生へのアドバイスも致します。



↑QRコードからもWebサイトをご覧ください

### 詳しくはWebサイトをご覧ください: <https://www.ohisama8.org> お問い合わせ: [8yashinomoric@gmail.com](mailto:8yashinomoric@gmail.com)

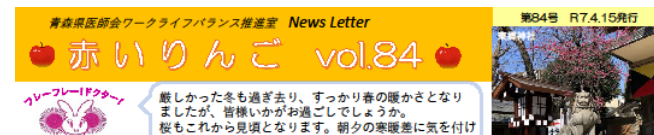
### ● 医師相談窓口のご案内 ● ～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）～

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復職などに関する相談を受けております。

○保育サービス情報提供  
・ベビーシッターを捜したい。  
・育児休業を休むという考えはある？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

○医師就業などの各種相談  
・育児が一歩進んだので復職したいが不安...  
・日本医師会の女性医師会へ心を開くには？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

※相談室での業務のご依頼も承っております。（復職医師が対応します。ご予約が必要です。）  
医師会加入の有無を問わず、医師であればどこでもご相談いただけます。  
登録料などでも、お気軽にご相談下さい！



● 今月号の内容	● 活動報告
・臨床研修病院等訪問(つがる総合病院) ・日医第2回男女共同参画委員会報告 ・令和6年度医師相談窓口担当者連絡会報告	・2/18 2月ワークライフバランス推進室運営会議 ・2/27 令和6年度医師相談窓口担当者連絡会 ・3/27 3月ワークライフバランス推進室運営会議

### 臨床研修病院等訪問(つがる総合病院) 令和7年2月12日(水)

本会役員より医師会事業を紹介後、「憧れの先輩像」を出席者に尋ねる形で、今回の意見交換がスタートした。

上級医は「時間に関係なく、患者のために働くことが理想だった」と振り返った。対して研修医からは、「仕事に誇りを持ちながら、プライベートの時間も確保してワークライフバランスを取りたい」、「現時点で、具体的なライフプランは考えていない」といった回答があった。

本会役員より、仕事とプライベートの両立という点で、青森県で働くメリットは「医師同士の顔の見える関係が築きやすく、自分の状況を理解して配慮してもらえること」、「通勤時間が短く、病院の近くに住むことで、子どもの送り迎えなどに時間を取られることがないことを挙げた。

また、別の役員は自身の経験から「育児に関して、特段困ったと感じたことがない。これは困ったときには早めに周囲に相談し、沢山の方に助けってもらったため、結果的に困ったことがないのだと思う。まずは、『困った』と周囲に相談することで支援につながるの、遠慮せずにどんどん声を上げてほしい」と呼びかけた。



その他、産休育休で常勤医が休む場合どのように対応しているか等。院長によると「科によって異なるが、大学病院に応援をお願いして対応している。最近では女性の消化器外科医も増えており、産休・育休の取得が増えることを想定して対応している」とのことだった。

さらに、他院の「1年以上働かなければ産休・育休を取得できない」というケースを紹介すると、副院長より「妊娠した状態で女性医師が入局し、1年以内に産休を取得した事例がある。1年以内でも産休・育休は取得可能だ」と回答があった。

また本会の医師相談窓口担当者として、二川原副院長に就任をお願いしたところ、ご快諾いただいた。

### ● 医師相談窓口のご案内 ● ～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）～

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復職などに関する相談を受けております。

○保育サービス情報提供  
・ベビーシッターを捜したい。  
・育児休業を休むという考えはある？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

○医師就業などの各種相談  
・育児が一歩進んだので復職したいが不安...  
・日本医師会の女性医師会へ心を開くには？  
・育児休業制度について詳しく知りたい！

※相談室での業務のご依頼も承っております。（復職医師が対応します。ご予約が必要です。）  
医師会加入の有無を問わず、医師であればどこでもご相談いただけます。  
登録料などでも、お気軽にご相談下さい！



# 青森県医師会・弘前大学医学部 男女共同参画セミナー

令和7年度  
7月9日(水)開催

開催形態  
特別講演＋グループ討論

昨年度と同様に、大学の授業の一コマ  
をいただいて開催。  
来年度よりセミナーのみの形式にて開  
催予定。



## 第1部: 特別講演



### Think Globally, Act Locally ～地域医療から国際保健を考える～

長崎大学病院高度救命救急センター  
救急・国際医療支援室  
講師 高橋 健介 先生

## 第2部: グループ討論

「医師の働き方とキャリア形成」をテーマとし、各テーブルごとに医学生、研修医、医師など多様な立場のメンバーで情報・意見交換がなされた。

出席者:約125名

医学生 104名

医師(勤務医・開業医、大学教授含む) 21名

他、研修医数名が参加

## アンケート結果

- ・医師を目指す上での視野が広がった、出席して良かった等のポジティブな感想が多かった。
- ・仕事と妊娠や出産の両立といった女性医師としての今後の生き方について深く考えさせられた、男女共同参画に対する意識が上がった等の感想があり、主催した側としても開催する意義を感じることができた。



# 来年度開催について

---

来年度は授業時間内でのセミナー及びグループ討論の時間配分の難しさが問題として挙げられたため、セミナーのみの形式にて開催予定。

# 研修病院訪問

日 時: 令和7年5月8日(木)18:00～  
訪問場所: 八戸市立市民病院

○自己紹介

○医師支援事業の紹介

男女共同参画委員会  
ワークライフバランス推進室  
女性医師バンク など

○意見交換



# 医師相談窓口受付数 (令和6年度)

---

○医師相談……32件

## 相談内容

- ・退職後の就業相談
- ・研修医・常勤医の勤務内容について
- ・研修医・常勤医の休暇取得に関して
- ・研修医の当直勤務に関して

# 医師相談窓口運営業務担当者周知について

- ・県内臨床研修病医院等に配布し、相談窓口担当者を周知予定

## 表面

私たちがお話を伺います！

医師相談窓口運営業務  
～担当者紹介～

青森県医師会では仕事と家庭の両立を支援するために、青森県委託事業として「医師相談窓口」を設置しております。男女問わずお気軽にご相談ください。業務内のご相談から子育て等に関するご相談まで幅広くお伺いしております。



おひさまクリニック院長/  
青森県医師会副会長  
高山 月子 先生



増田病院副院長/  
青森県医師会常任理事  
工藤 史子 先生



弘前大学大学院保険学研究科  
看護学領域教授/  
青森県医師会常任理事  
樋口 毅 先生



のだ眼科・血管内科  
クリニック 院長/  
青森県医師会常任理事  
野田 浩 先生



青森市民病院  
糖尿病・内分泌内科部長  
田中 光 先生



つがる総合病院副院長  
(内分泌・糖尿病・代謝内科)  
二川原 健 先生



弘前大学大学院医学研究科  
形成外科学講座 主任教授  
澤盛 聡志 先生



健生病院 外科 科長  
兼田 杏理 先生

※医師会会員でない先生でも相談できます。  
※お預かりした個人情報については、本人に同意なく第三者に開示することはありません。

## 裏面

現役医師がご相談をお伺いします！

医師相談窓口のご案内

～WEBフォームの利用方法～

QRコードを読み取ると<https://ishi-ouen.com/>にアクセスできます

↑タップ →

各項目を入力し送信

～その他の相談方法～

[電話]  
受付時間：月～金/9：00～17：00  
専用フリーダイヤル：0800-800-1400

[面談]  
電話・メールにてご連絡ください。  
日程調整後、県医師会館にて  
担当医師が対応いたします。

[メール]  
e-mailアドレス：ishi-ouen@aomori.med.or.jp

～実際の相談事例～

- ・現在休職中で復職したい！→パート勤務できる医療機関を紹介
- ・〇〇地域のベビーシッターさんを紹介していただけないでしょうか？  
→実際に利用したことのあるドクターから紹介
- ・子どもの送り迎えをお願いできるサービス等を紹介してください  
→タクシー会社のサービスを紹介

# 青森県医師会に寄せられた相談事例

- ・〇〇地域のベビーシッターさんを紹介していただけないでしょうか？

- ①全会員にチラシを送付し情報提供依頼
- ②Googleフォームにて情報提供を受付
- ③青森県医師会会員より、利用経験のあるベビーシッターの情報提供があり、紹介した

**至急！！**  
**ベビーシッター  
情報募集**

弘前、黒石地域でベビーシッターを  
お探しの先生がいます。

ファミサポ   一時預かり   NPO法人

お心当たりの方がいらっしゃいましたら、  
是非とも情報提供をおねがいします。  
下記QRのフォームより情報をお寄せください。



情報募集締切：令和7年3月31日

このチラシは青森県医師会男女共同参画事業の一環で作成されています。  
問い合わせ先：公益社団法人 青森県医師会  
青森市新町2丁目8-21 ☎017-723-1911



# 青森県医師会に寄せられた相談事例

## ・子どもの送り迎えをお願いできるサービス等を紹介してください

- ①ホームページの問合せフォームより相談あり
- ②ワークライフバランス推進室運営会議にて協議
- ③タクシー会社で行っているサービス「子育て支援タクシー」を紹介

サービス内容: お子さんの迎えに行けないときに、  
タクシー会社が送迎を代行する・・・等



### 子育て支援割引

子育て支援タクシーにご登録いただいた妊婦さんとお子様（未就学児）に会員証を差し上げております。お子様とのお乗車の際、会員証をご提示いただければ、1割引にてタクシーをご利用いただけます。

### 免許返納者割引

ご登録後に差し上げます会員証を、ご提示いただければ1割引にてタクシーをご利用いただけます。

### ケアクラブ割引

ケアクラブ会員（障がい者手帳をお持ちの方、要介護・要支援認定をお受けている方）にご登録いただいた方に会員証を差し上げます。電話にてタクシーをお呼びいただき、お支払いの際に会員証をご提示いただければ2割引にてタクシーをご利用いただけます。

ケアクラブ専用電話 ☎0172-38-3838

# 青森県医師会に寄せられた相談事例

---

- ・非常勤勤務になり社会保険に加入できず、  
（国民健康保険が高額のため）困っている。
- ①臨床研修病院等訪問の際に相談を受ける
- ②他県状況を調査し、他県では非常勤医師でも医師国民健康保険組合に加入できることが分かった
- ③青森県でも非常勤医師が医師国民健康保険組合に加入できるように会長（医師国保理事長）を通じて実現した（3役会にて提言、理事会にて承認）

# 青森県医師会に寄せられた相談事例

---

## ・休職中の医師より復職について相談

- ①医師相談窓口運営業務担当者より本会役員（開業医）に相談
- ②週3日クリニックでパート勤務をしてもらい、学会参加や研修会への参加、技術の習得を積極的に推奨し、復職支援に繋げることが出来た

# 医師相談窓口担当者連絡会

---

## ○昨年度開催実績

- ・育児休暇を取得した男性医師の対談

日 時: 令和6年10月18日(木)

対談内容: 育児休暇取得体験談について

- ・医師相談窓口担当者連絡会

日 時: 令和7年2月27日(木)

議 題: 医師の育児休暇取得に関するアンケート結果報告

○今年度開催予定: 10月 医師の育児と働き方にかかる対談  
2～3月 医師相談窓口担当者連絡会

# 今年度の活動のまとめ

---

昨年度、様々な立場の女性医師に対して支援を受けやすい環境を作ることを支援の工夫として掲げた。

今年度は医師相談窓口担当者を増員し体制強化に努めた。

今後も医師に寄り添った支援できるよう、継続して病院訪問・対談企画を実施していきたい。